

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の概要について

富加町教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ※本調査の結果は、児童生徒の学力の特定の一部を示すものであって、児童生徒の学力の全体を判断するものではありません。

(2) 調査の対象学校・対象学年 富加町内の公立小学校（第6学年）

(3) 調査内容

①教科に関する調査【国語、算数・数学】

- ・主として「知識」に関する問題
- ・主として「活用」に関する問題

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

(4) 調査日 平成29年4月18日（火）

2 教科に関する調査結果の分析

小学校

☆良い結果であったこと

【国語】

- ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く
- ・俳句の情景を捉える
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む
- ・動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す

【算数】

- ・具体的な問題場面において、乗法で表すことができる二つの数量の関係を理解している
- ・小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの乗法の性質を理解している
- ・整数の乗法の計算をすることができる
- ・小数と整数の加法の計算をすることができる
- ・加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる
- ・二つの数の最小公倍数を求めることができる
- ・立方体の面と面の位置関係を理解している
- ・未知の数量を表す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことができる
- ・資料を二次元表に分類整理することができる

★課題と考えられること

【国語】

- ・手紙の構成を理解し、後付けを書く
- ・目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く
- ・自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える

【算数】

- ・問題に示された二つの数量の関係を一般化してとらえ、そのきまりを記述できる
- ・料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる
- ・直線の数とその間の数字の關係に着目して、示された方法を問題場面に適用することができる
- ・仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できる
- ・示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる
- ・割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができる
- ・身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述できる

3 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

☆良い結果であったこと

- ・朝食を毎日食べる。
- ・将来の夢や目標を持っている
- ・家で学校の宿題をしている
- ・学校に行くのが楽しい
- ・学校で友達に会うのは楽しい
- ・友達との約束を守っている
- ・いじめは、どんなことがあってもいけないことだ

★課題と考えられること

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・自分にはよいところがあると思う
- ・テレビ、ビデオ、DVD等の視聴時間
- ・一日当たりの読書時間
- ・新聞を読む

4 今後の取組

- ・児童に基礎学力を定着させるために岐阜県が大切にしている「3つの見届け（実態の見届け・学習状況の見届け・定着状況の見届け）」を確実に行う。
- ・授業の中に、児童同士が自分の考えとその根拠を伝え合う活動を取り入れることで、話したり書いたりして自分の考えを伝える表現力と、相手の意図を聞き取る読解力を養う。
- ・児童にとって学ぶ必然のある課題を設定し、体験活動や練り合いを通して主体的に学ぶ授業を行う。
- ・家庭学習の手引き等を活用し、家庭学習の意義や取り組み方について指導する。
- ・「第三次富加町子どもの読書活動推進計画」を積極的に推進していく。
- ・学級懇談会や家庭教育学級等の場で、家庭学習や読書について交流する場を設ける。
- ・大学の協力を得ながら、指導改善のための研修を主体的に推進していく。
- ・教師主導の授業から、児童主体の授業への転換を推進する。